

都市づくりの理念・目標 (たたき台)

令和7年8月26日

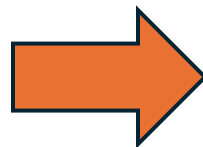
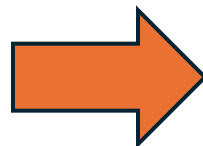
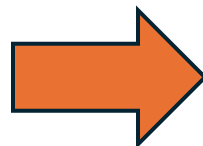
第4回長野市都市計画マスタープラン改定専門部会

計画改定のポイント

問題意識

社会経済情勢の変化
(都市を取巻く環境)

わかりにくさ
(煩雑さ)



対応項目

都市構造

分野別方針

都市づくりの理念・
都市づくりの目標

社会経済情勢の変化と改定のねらい

社会経済情勢の変化

■災害リスクの増大

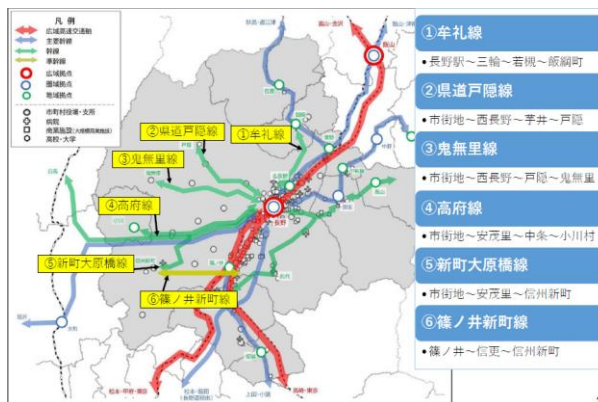
- 令和元年東日本台風による甚大な被害が発生



令和元年東日本台風の被害

■公共交通維持への不安

- 長野市街地と中山間地を結ぶバス路線・6路線が廃止予定

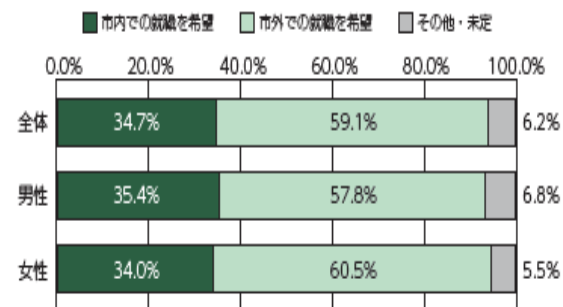


廃止路線となるバス路線

■人口減少等による活力低下

- 市内の高校生・高等専門学校生等の約6割が市外での就職を希望
- インフラ更新時期到来による更新費用の増大

◆就職についての高校生・高等専門学校生等の意識



資料：企画課「平成30年高校生意識調査」

就職について高校生・専門学校生等の意識

改定のねらい

今回の改定では、今後の社会情勢の変化を捉えながら、

将来においても持続可能な都市づくりの実現

の観点から計画の改定作業を進める

方向性：これまで目指してきた都市構造を継承

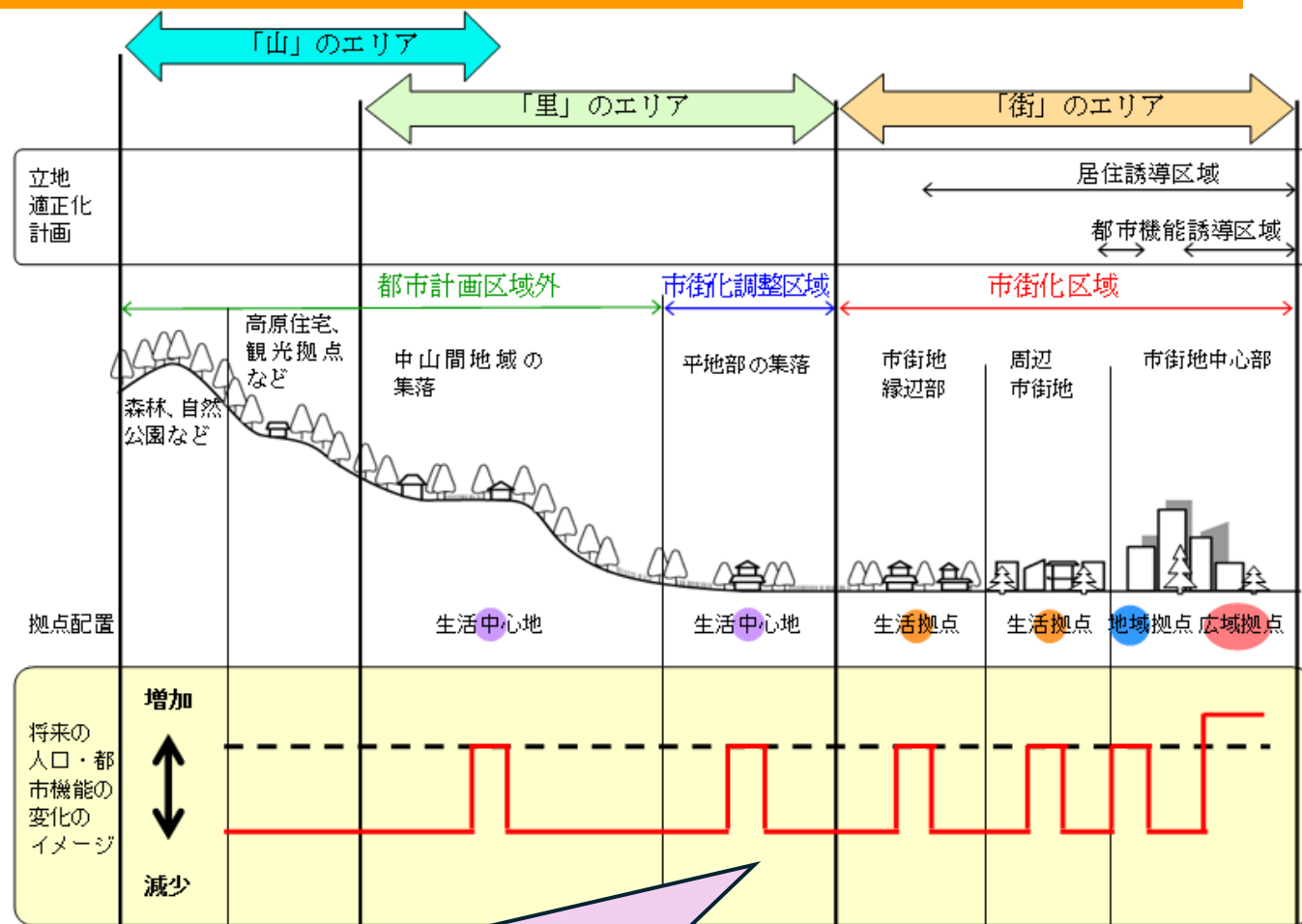
- [illegible]

改定の視点と方向性（都市構造）

視 点：拠点の維持・強化

方向性：人口、都市機能の維持（都市計画区域外も）

- 将来、人口減少が進行することが予測される中、都市のどこで“減らす”のかを計画する（決めておく）必要がある。
- 基本的には、各種の拠点では人口を維持するため、それ以外の地域で減少を受け入れることになる。
- また、広域拠点では現状より増やすのであれば、その分もその他の地域で減らすことになる。



(イメージ)

- ・長野市全体の人口は減少しても、拠点圏域の人口は維持
- ・同様に、拠点圏域の都市機能は維持

--- 現状
— 将来

改定の視点と方向性（分野別方針）

視 点：災害リスク回避・軽減、移動手段確保、都市活力維持・向上
方向性：持続可能な都市となるよう各分野で対応

ねらい

改定の視点

持続可能な都市づくりを実現する
ため（改定）の方向性

将来においても持続可能な都市づくりの実現

⇒

災害リスクの回避・軽減
への対応

- 自然災害の激甚化・頻発化
- 災害リスクが高い区域で都市化の進展

⇒

□ 被害対象を減らす（少なくとも増やさない）土地利用の検討

⇒

□ 被害対象を受けにくくする基盤整備

⇒

移動手段の確保への対応

- 1人当たり公共交通利用回数の減少
- 市内を移動できる環境の評価が低下
- 放置自転車の存在

⇒

□ 都市構造の再構築（都市計画区域内外の各種拠点の強化）

⇒

□ 自転車利用（市民、観光客）を促進する基盤整備

⇒

都市活力の維持・向上
への対応

- 中心市街地における商業施設の減少
- 市内の高校生・高等専門学校生等の約6割が市外での就職を希望
- 公共施設の維持管理・更新費の増加

⇒

□ 空き地・空き店舗などの活用による都市機能の誘導

⇒

□ 企業立地促進に寄与する産業用地の開発

⇒

□ 増大する維持管理・更新費用を踏まえた整備方針の検討

改定の視点と方向性（わかりにくさの解消）

視 点：わかりやすさ（←現行計画は複雑）

方向性：理念は総合計画、目標は分野別方針と整合

現行都市計画マスタープランの理念・目標

都市づくりの理念

自然・歴史・文化などを活かし、「誇り」と「愛着」のもてる暮らしやすい都市

様々な魅力と活気が感じられる、多くの人を惹きつける都市

安心して自由に活動し、元気で過ごせる、皆で共に支えあう都市

都市づくりの目標

目標1 誰もが住みやすく移動しやすいコンパクトな街にする

目標2 都市の資産を上手に使い再生する

目標3 自然・歴史・文化などの地域特性を活かした長野らしい特色ある地域づくりを図る

参考（第5次総計のまちづくりの基本方針）

- ・ 市民の「幸せ」の実現
- ・ 「持続可能な」まちづくりの推進
- ・ 「長野市らしさ」の発揮と「まちの活力と魅力」の創出

参考（現行都市マスの分野別方針）

- ・ 土地利用の方針
- ・ 道路・交通施設整備の方針
- ・ 自然環境の保全と都市環境整備の方針
- ・ 都市景観整備の方針
- ・ 防災都市づくりの方針

都市づくりの理念（たたき台）

第5次長野市総合計画 まちづくりの方針

市民の「幸せ」の実現

- 市民が真の豊かさや幸せを実感し、いきいき生活できるまちを目指す

「持続可能な」まちづくりの推進

- 行政財政資源を効率的・効果的に活用する
- 既存の公共施設を有効活用する
- 環境配慮（地球温暖化防止、多様性確保）

「長野市らしさ」の発揮と
「まちの活力と魅力」の創出

- 自然環境や交通環境などの強みを磨き上げ長野市らしさを発揮する
- 人口減少に歯止めかけ、まちの魅力を維持・創出する



都市計画の視点

- 災害リスクの回避・軽減するまちづくり
- 長野市の歴史・文化を活かしたまちづくり



都市計画マスタープランの理念

長野の魅力を高めながら将来も持続可能な都市の実現

都市づくりの目標（たたき台）

都市づくりの理念	都市づくりの目標	分野別方針	着眼点
長野の魅力を高めながら 将来も持続可能な都市の実現	⇒ 人口減少化でも持続可能な都市づくり	⇒ 土地利用の方針	・子育てしやすい住環境 ★ ・新たな居住者や訪問者の増加 ・生活の核となる機能の集積 ・空き地・空き家の活用による都市機能の誘導 ・企業立地促進に寄与する産業用地確保 ・増大する公共施設の維持管理・更新費用を踏まえた整備方針の検討
		⇒ 道路・交通施設整備の方針	・公共交通が利用しやすい都市づくり ★ ・都市構造の再構築（市街地の魅力向上と都市計画区域外の拠点の強化） ・自転車利用を促進する基盤整備 ★
	⇒ 自然・歴史・文化を活かした特徴ある都市づくり	⇒ 自然環境の保全と都市環境整備の方針	・自然環境や農地などの保全と市街地の潤いの充実
		⇒ 都市景観整備の方針	・長野の魅力を都市づくりへ取り込む ★
	⇒ 災害に強く安全・安心な都市づくり	⇒ 防災都市づくりの方針	・災害リスクを考慮した土地利用誘導 ・災害被害を受けにくくする基盤整備

★印は市民意識調査の結果と特に関連する事項⁹